平成25年度　事務事業評価シート

※平成24年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	補装具費の支給								継続
コード	24	－	32	－	02	－	01	予算事業名	自立支援医療・補装具
担当部署	福祉部		障害者福祉課		障害給付担当			予算事業コード	会計 10 款 02 項 01 目 07

1. 事業の位置付けと関連計画、関連事業等

第三次川越市総合計画上の位置付け（太枠内）　位置付けなしの場合

法令による実施義務：義務

基本目標(章)	1章	ともに助け合い、一人ひとりが健康で行き来と安心して暮らせるまち	実施計画事業名	なし
方向性(節)	1節	だれもが幸せに地域で暮らせるまちづくり	個別計画等の名称	川越市障害者支援計画
施策	3	障害者福祉の推進		
細施策	5	福祉サービスの充実	当事業に関連する事務事業	なし
事業実施の根拠となる法令・条例等	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律			

2. 事業の目的と概要

事業の目的（誰・何を対象に、何のために実施するのか）	障害者を対象に、日常生活を送るうえで必要な移動等の確保や、就労場面における能率の向上を図る。また障害児を対象に将来、社会人として独立自活するための素地を育成助成する。
事業の概要（活動内容、実施手段・方法など）	職員が身体の欠損又は損なわれた身体機能を補完・代替する用具について、購入又は修理の支給決定事務を行い、その支給実績に対して審査支払を行う。これにより、補装具費の障害をもつ人の自己負担は原則1割となる。

3. 実施にかかるコストと実績

（単位:千円）

		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
予算額		65,115	61,286	53,496	82,092	66,391	
（25年度予算額大幅増／減の理由）							
事業費	A	55,780	54,827	55,456	84,196	66,391	63,015
人件費	B	3,669	3,669	3,669	3,669	3,669	3,669
総コスト（C＝A＋B）		59,449	58,496	59,125	87,865	70,060	66,684
正規職員（1年間の従事人数）		0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人
臨時職員（1年間の従事人数）							
国県支出金	D	41,835	41,120	41,592	63,147	49,793	47,261
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担（＝C－D－E）		17,614	17,376	17,533	24,718	20,267	19,423

※25年度、26年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

評価指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度目標値	将来目標値	
活動	1年間の支給件数	件	686	704	684	855	732	26年度	732
	指標の定義・説明		補装具費の支給を受けた件数						
								年度	
	指標の定義・説明								
								年度	
	指標の定義・説明								
								年度	
	指標の定義・説明								
指標に基づく評価	障害をもつ人に必要な用具であり、身体機能を補完・代替を図り、就労能力の増進や日常生活を容易にするという点から成果を挙げていると考える。								

5. 事業の実施を通じた分析

(1) 現在の課題と状況　課題はない

義足や車椅子といった補装具は、障害のある人が日常生活や社会生活を営む上で欠かすことのできない大変重要な用具である。購入や修理にかかる額が非常に大きいため、補装具費の支給認定を行うことで障害をもつ人の自己負担額は軽減される。なお、市が事業主体になることは法令上の義務となっている。

(2) 比較参考値（他市での類似事業の例など）

障害者総合支援法に基づく事業であるため各市町村同一である。

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響

障害者総合支援法に基づき実施している事業であるため廃止及び縮小は困難である。

平成25年度事務事業評価　方向性提示シート

所管部署			福祉部				障害者福祉課	障害給付担当
事務事業名称			24	32	02	01	補装具費の支給	
今後3年間の方向性	25年度	継　続						
	26年度	継　続						
	27年度	継　続						